

# 食のおいしい力宣言

日本は世界有数の長寿国といわれるようになりました。しかしその一方で、「生活習慣病」「アレルギー症」など身体の機能を低下させる疾病が増加しています。高齢化社会となった現在、日常生活の質を維持し、健康寿命をのばすことがますます求められているのです。こうした時代にあって私たち生活科学運営は、食事をとおしてご入居者の身体と心に“おいしい力”を提供すること追求します。

“おいしさ”とは「味・香り・食感・温度・色・形」など料理自体の直接的要素や「個人の体験・習慣・健康状態」といった食べ手の要因、また日常つかう食器の選択から行事における演出に及ぶ「食卓の環境」、健康を保つための適切な栄養摂取や食材の安全性などの「身体的要求」、そして食べ手とつくり手のコミュニケーションという多面的な要件の上に成り立つものであり、それぞれの“おいしさ”が毎日の生活を支える大きな力になると考えるからです。ご入居者からの日々の声を生かせる現場調理を大切にし、わが家のダイニングキッチンと呼ばれるような食事づくりを目指します。

※下記の宣言は“食サービス”に関する当社の理念『生活科学の食サービス』を上述の視点から行動目標の形でまとめたものです。

## 5つの おいしい力 を笑顔で提供します

- お** 美味しくて、食べやすい。“おいしい力”のある料理をつくります。
- い** いつまでも食べる楽しみと健康を。“おいしい力”となる食事を応援します。
- し** 自然のめぐみを受けた身体が喜ぶものを。“おいしい力”のある食材を選びます。
- い** 居心地が良く、笑顔のある。“おいしい力”が生まれる食卓をつくります。
- 力** 力をつける毎日の食事と旬を楽しむ季節の食事。  
“おいしい力”のある献立をつくります。

2008年1月